

「賛助会員の会 第4回総会・第3回ニューテクノフォーラム」開催報告

賛助会員の会 運営委員会 委員
シチズン時計株式会社 藤井 直樹（文責）

概要：春季大会会期中（於：首都大学東京）の3月15日、「賛助会員の会」第4回総会、第3回ニューテクノフォーラム（NTF）等の各種行事が開催された。昨年の春季大会会期中に東洋大学にて開催予定であった第2回総会・第1回ニューテクノフォーラム等が、震災の影響で中止された経緯から、昨年秋季の金沢大学での大会に続いて、今回が2回目の本格的な活動となった。前回と同様に総会、NTFに続き昼食懇談会、および2012年度第1回運営委員会を開催し、新委員及び旧委員も出席し、新体制への引継ぎ事項や今後の更なる活動の活発化に向けて、議論が進められた。以下、概略を報告する。

1. 上田運営委員長の挨拶

冒頭に、「賛助会員の会」運営委員会 上田委員長（現精密工学会副会長）より、開催宣言が行われ、当日スケジュール等の説明と、「賛助会員の会」の活動活性化への協力要請が行われた。

2. 第4回総会

2012年3月15日（木）9:00～9:30、首都大学東京 南大沢キャンパス 講堂小ホールにて、賛助会員の関係者39名、学会関係者13名、計52名の参加者を得て、第4回総会が開催された。

2-1:米田隆夫会長の挨拶

賛助会員の会が、精密工学会 森脇俊道会長の強い思いで、2010年秋に発足した経緯の説明。

日本の『ものづくり』が、現状の円高・大震災等による閉塞感の中で、現状と課題を整理して復活に向けた方策を探る必要性に迫られている事。

現在のものづくりの置かれた状況から、精密工学会では、今春季大会サブテーマを『再生』とし、今回のNTFのテーマでは『日本製造業のグローバル展開と国内のものづくりのあり方』について基調講演・パネルディスカッションを行う事とした。これを通して賛助会員の中で議論し、懇親会で対話することは非常に有意義である。とのお話をあった。

2-2:議事

議案1：次期会長 信任の件

次期会長選出について、運営委員会より三井精機工業株式会社・渋川哲郎常務取締役の

推薦提案があり、会場の拍手で信任された。

議事 2：次期運営委員会 体制・委員 信任の件

体制・委員信任の件についても、運営委員会より

運営委員長：北嶋弘一 先生（関西大学）

幹事：松木則夫 先生（産業技術総合研究所）

アドバイザー：金子俊一先生（北海道大学）

アドバイザー：金枝敏明先生（岡山理科大）：

をはじめ、18名の推薦提案があり、会場の拍手で信任された。

議事 3：運営規程（一部）改訂 承認の件

これまで、年2回の総会、NTFの開催準備など運営を行ってきたが、委員の任期1年ではめまぐるしく委員が変わる為、継続的充実した運営をする為に任期を2年にする、規約改定が提案された。

経緯説明の後、この件についても会場の拍手で承認された。

2-3: 渋川哲郎新会長の挨拶

最後に、本総会で信任された渋川新会長が挨拶に立ち、皆さんの意見を集約し、運営委員会メンバーと一緒に「賛助会員の会」の活性化に繋がる活動内容についての決意が述べられた。

これをもって、閉会した。

3. 第3回ニューテクノフォーラム(NTF)

第3回総会に引き続き、同会場にて、62名の参加者を得て、第3回ニューテクノフォーラムが『日本製造業のグローバル展開と国内のものづくりのあり方』をテーマに開催された。

慶應義塾大学の中野 冠教授の基調講演『グローバル競争力獲得・維持の為の課題と方策』では、①グローバル製品分野、②大規模プロジェクト分野、③先端要素技術分野の3つの視点からの為替環境、各国GDPの状況を含めた結果として国内市場とアジア市場に2極重点を置いた2極コンセプトが提案された。

続くパネルディスカッションでは、まず最初に4人のパネラーより話題提供があった。

㈱日本総合研究所 井熊 均氏からは、『スマートシティ市場とビジネスチャンス』と題して、新興国におけるスマートシティ開発の構想、それに対する参入戦略などの報告が行われた。

㈱デンソー 原嶋 茂氏からは、『自動車部品分野の海外モノづくりの課題と施策』と題して、生産システム、ラインの考え方、人材育成についての報告が行われた。

ヤマザキマザック㈱、村木 俊之氏からは、『工作機械グローバル展開における現状課題

と施策』と題して、各国の諸事情に合わせた海外工場による開発展開、海外赴任者ローテーションなどについての事例を含めた報告が行われた。

日立製作所 斎藤 昭男氏からは、『C O C Nプロジェクトグローバルもの（コト）づくり－ 提言』（C O C N : Consil on Competitiveness-Japan、産業競争力懇談会）の活動報告として、2 極ポジショニング及びそれに向けた戦略として、新製品開発、海外生産、資金回収戦略などの説明が行われた。

ディスカッションでは、東京大学の石原 直教授（精密工学会次期会長）のコメントも含め、熱い質疑が交わされ、日本の製造業が、直面している課題を、様々な観点から再認識出来、多くの気付きが得られた。

4. 昼食懇談会

第3回ニューテクノフォーラム終了後、講堂向かいの1号館103室に会場を移して、基調講演の中野 冠教授はじめ、パネルディスカッション講演メンバー、参加者、産学関係者を交えた昼食懇談会を開催した。55名の参加者があり、やや狭い会場ではあったが、NTFでの講演内容の意見交換、「賛助会員の会」の活動内容の意見交換など、盛り上がった、懇談会となつた。

5. 第3回運営委員会

上田運営委員長より、森脇会長の発案に基づく賛助会員の会の基本理念及び立ち上げの経緯の説明が行われた。その後新旧委員の自己紹介、申し送り事項の確認、次回NFTテーマなどの討議を行い、渋川新会長及び北嶋新委員長の、今後の抱負を含めた挨拶をもつて終了した。

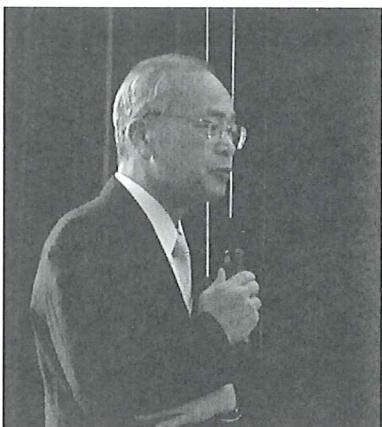


写真1



写真2 総会の様子

米田会長(賛助会員の会)の挨拶



写真3 NTF 基調講演の中野氏



写真4 NTF パネルディスカッションの様子

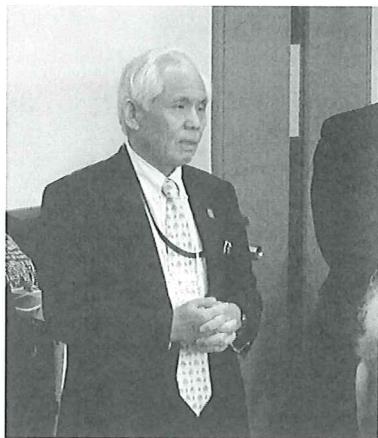


写真5
森脇会長(精密工学会)の挨拶



写真6 昼食懇談会の様子